

浜松城公園について

浜松城公園は、浜松市の中心部に位置する緑のオアシスです。市の中心部にありながら憩いの場であり、広く開放的な空間はピクニックやジョギング、屋外での遊びにうってつけです。この公園には、浜松城、公共の芝生広場（中央芝生広場）、カフェ、休憩所があります。浜松城の天守閣では浜松城や周辺地域の歴史に関する展示を行っています。

歴史を遡ると、15 世紀中頃から始まった、大名同士が同盟したり敵対したりして戦乱状態にあった時代において、この場所は重要な城でした。天守門のそばには、浜松城主になったのち、将軍へと上り詰めた徳川家康（1542～1616 年）の銅像が立っています。浜松で家康は戦い、徳川軍を勝利に導く力を得ました。その後、家康は徳川幕府を開き、1603 年以降、幕府を江戸（現在の東京）に置いて日本を支配しました。現在の浜松城とその公園エリアはゆっくりと落ち着ける場所になっています。

1977 年には、昭和天皇（1901～1989 年）の在位 50 年を記念して伝統的な日本庭園が公園内につくられました。この日本庭園の特徴は、桜の木をはじめとする種類豊富な植物のほか、木造の橋、池です。浜松城のちょうど北側には茶室・松韻亭があります。松韻亭では庭園を眺めつつ、茶道の作法に従って緑茶と和菓子を味わうことができます。

浜松城公園は入場無料ですが、浜松城の天守閣への入場にはごくわずかな入場料が必要です。